

新任のご挨拶

千葉保護観察所

主任保護観察官

峯岸 昌矢



本年度から千葉県婦性会を担当させていただくことになりました。当会の担当は、9年ぶり2度目となります。

当職は更生保護施設とご縁があり、当会を含め、これまで東北や関東管内の合計6施設を担当させていただきました。頼るべき親族や縁故者がいないなど、行き場のない人たちに手を差し伸べ、昼夜を問わず立ち直りの再出発を支えていただいている更生保護施設役職員の皆様方の日々の処遇活動に接する機会を得て参りましたので、当会におきましても施設長様をはじめ補導員等各職員の皆様と定期的に処遇会議や話し合いを行いながら、保護観察対象者等施設の入所者との接し方、より効果的な指導や助言の方法を一緒に考え、入所者が笑顔で施設から自立退所の日を迎えることができるよう、精一杯処遇活動、犯罪予防活動等に努めて参りたいと思います。

本年度は年度当初から、新型コロナウイルスの影響で、様々な活動がストップするなど、かなり厳しい状況からのスタートとなっています。就労自立を目指して努力している更生保護施設入所者も例外ではなく、仕事が止まって待機状態にな

り、収入が減ることと考えていた自立計画も見直さなければならなくなるなどの問題が出ているのが現状です。先の見えない状況ではございますが、世の中が今後、よい方向に動いていく可能性を信じ、入所者には、まずは自らできること『三密を避ける』『マスクなどによる感染予防』を徹底するとともに、周囲へ与える影響や後先のことを考えた行動を促していきたいと思えます。

右の職歴においては、法務省職員としては保護観察処遇や仮釈放審理などに携わり、東京都就労支援事業者機構の事務局に置かれた更生保護就労支援事業所に勤務中は刑務所出所者等に対する就労支援及び協力雇用主の開拓などに携わり、更生保護施設・敬和園では補導主任兼調理員として勤務しておりましたので、今後はこれらの経験を活かすとともに、地域との繋がりを大切に、また、関係機関・団体との緊密な連携のもとに、被保護者に対しては、それぞれの状況に応じた適切な保護に努めてまいります。

職員紹介

千葉県婦性会

補導主任

石川 信一



私は、長年、法務省の職員として勤務し、退職後は、特定非営利

活動法人・東京都就労支援事業者機構、次いで、更生保護施設・敬和園（東京都中野区）の勤務を経て、本年五月から千葉県婦性会で勤務させていただきますので、よろしくお願いいたします。

千葉県婦性会

補導員

野堀 由美



七月の九州豪雨で被災された皆様に、お見舞いを申し上げます。主人が現役の